

# グリーフサポートせたがや 2016年度活動報告



活動期間  
2016年7月1日～  
2017年6月30日

2016年はグリーフサポートの輪を広げる活動がさらに充実した一年でした。「世田谷区若者支援事業」として委託されていた「サポコミュカフェ」の運営は、2017年4月から独自の事業として隔月開催が始まり、サポートプログラム・個別相談・連続講座の3つの接点に加えて、誰でも気軽に参加できる「サポコミュカフェ」という場ができました。また、グリーフサポートの意義を伝えるリソース作りに取り組み、ダギーセンター制作のDVDの日本語字幕版を制作し上映会を開催、また、「Kids Hurt Too Hawaii」のシンシア・ホワイトさんの講演会を開催し講演録を発行しました。

## サポートプログラム

子どもプログラム、大人プログラム、パートナー死別ピアサポートプログラムの参加者数は、子どものべ69名、大人のべ171名、参加したファシリテータのべ232名でした。



## ファシリテータ養成講座

2016年度は2回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は23名（うちファシリテータ登録は8名）でした。子どもプログラムのファシリテータも徐々に増えてきています。



## 個別相談

個別相談の来談者はのべ66名でした。毎月2回2時間ずつ開催している電話相談の利用者はのべ44名でした。個別相談は2016年3月末までは世田谷区グリーフケアモデル事業・2016年4月からはグリーフサポート事業の補助により初回は無料です。



## サポコミュカフェ

2017年4月から、隔月第3土曜日の午後4時から7時に開催時間を変更しました。サポコミュカフェは参加者のべ83名、スタッフのべ52名でした。誰でも気軽に参加いただける場なので、サポートプログラムや個別相談に加えて、第三のサポコハウスへつながる機会になっています。



# いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にに使わせていただいております。

## 講座・ワークショップなど

ダギーセンター制作のDVD『教育現場におけるグリーフサポート』の日本語字幕版を制作。DVDを購入いただいた方による自主上映会も日本各地に広がっています（広島、大阪、広島など）。また、ハワイ「Kids Hurt Too Hawaii」を創設したシンシア・ホワイトさんと伊藤ヒロさんの講演録『子どものグリーフとトラウマに寄りそう～ハワイの経験に学ぶ』を発行しました。DVDや講演録はファシリテータ養成講座の教材として活用しています。



## グリーフアクティビティ

世田谷区内にある団体、街の木を活かすものづくりの会（マチモノ）さんとコラボ企画「グリーフアクティビティ」を開催しました。マチモノさんは、伐採された街の木（街路樹や公園の木など）をモノづくりの素材としていかし、私たちの身の回りで使う道具など別の形で生まれ変わらせる活動をしています。小さいころからともに育った木々が伐採されたあと、自分の手で加工し、自分の身の回りにおいておけるものを通して、木片との関係性を新たに構築する営みがグリーフワークと共通すると感じ、木工ワークショップを開催しました。



## 「サポコバンド」誕生！

グリサポせたがやからバンドが生まれました。2016年9月には「momoきかく」による「グリサポ祭り」で初ライブデビュー。「momoきかく」のイベントは、収益がグリサポせたがやの寄付になります。



## 2016年度決算報告

### 2016年度収支報告（2016年7月1日～2017年6月30日）

収入		支出	
会費	270,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	5,324,273
グリーフに向き合うスペース運営事業	640,828	グリーフに関わる普及・啓発事業	4,318,782
グリーフに関わる普及・啓発事業	921,605	管理費	2,780,656
助成金・補助金	6,390,690	次期繰越	5,027
寄付金	4,205,574		
利息	41		
<b>収入合計</b>	<b>12,428,738</b>	<b>支出合計</b>	<b>12,428,738</b>

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業